

現地受入体制

工学院大学では、参加者に対して十分なオリエンテーションを行ない参加者の留学に対する認識を深め、さらに、現地においては現地日本人コーディネーターが、生活に関する相談や、怪我・病気等に対して支援を行います。

参加費用

留学費用（2019 年度実績）	渡米費用（2019 年度実績）
留学中必要と思われる経費は概ね以下のとおりです。	渡米にかかる費用は概ね以下の通りです。

ホームステイ費用 (10週間分／手配費用含む)	\$2,300	航空運賃 (シアトル往復。燃油、空港税含む。)	¥189,000
交通費、昼食代 (10週間分。\$330／月を目安として)	\$850	海外旅行保険 (本学指定。大学特別契約制度)	¥ 53,500
フィールドトリップ交通費、教材費等	¥20,000		

※過年度実績であり、留学先の物価変動や料金改定、為替レートの変動、燃油価格の変化等により料金は変化します。

プログラムスケジュール（予定）

本プログラムに参加申込するためには、『募集説明会』への出席が必須です。必ず出席し、プログラムの概要と参加申込方法から手続開始、出発までの詳細な情報を確認してください。
各説明会の詳細や変更、その他連絡事項は、本学WEB掲示板キューポートにて案内します。

1 年次12月中旬	募集説明会	注）本留学の参加申込には募集説明会への出席が必須です。
1 年次12月下旬～3 月上旬	参加申込期間	
1 年次3 月中旬	当年度実施の可否確定、参加者確定 注）最少実施人数に満たない場合は当年度実施を見送ります。 最大実施人数を超えた場合は参加者を選定します。	
以降、順次実施	手続説明会（留学手続、航空券、海外旅行保険等の手配開始） 出発説明会（出発の案内）、ステイスタディ	
2 年次6 月	渡 米	現地説明会
2 年次8 月	帰 国	

注）各スケジュールは、受入校や年度等により時期が異なる場合があります。

プログラム実施に際しての注意点（※重要）

ー 本プログラムには参加人数による『最少実施人数』と、『最大実施人数』が設定されています。

『最少実施人数』10名

参加人数が他学部と合わせて10名に満たない場合は、その年のプログラム実施は見送ります。

『最大実施人数』40名

参加申込数が他学部と合わせて40名を超えた場合は、学部の判断により参加者の選定が行われます。

ー 海外情勢や現地協定校等の事情により、プログラムを実施できないことがあります。



平成27年度 文部科学省「大学教育再生加速プログラム」採択

Voice

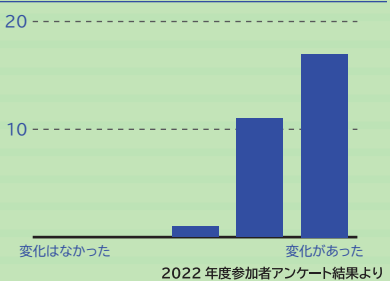
参加者の皆さんの声

Q. ハイブリッド留学に参加して良かったと思いますか？

100%

ハイブリッド留学に参加してみようと思った
2022 年度参加者アンケート結果より

Q. ハイブリッド留学に参加して生活や価値観に変化はありましたか？



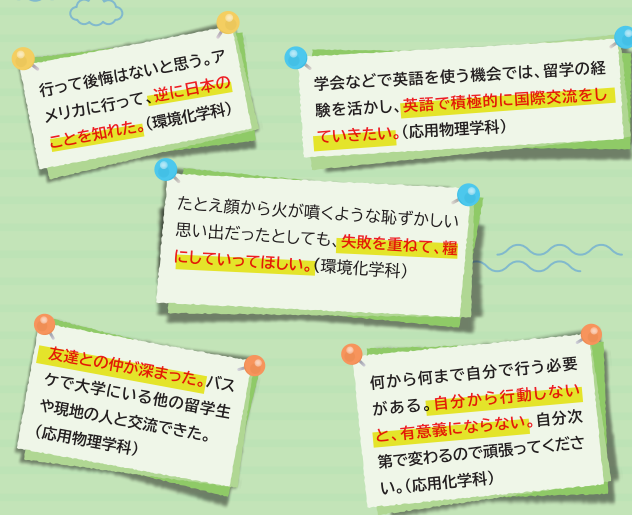
自分の人生を 180°変えるきっかけに！

元々は英語が苦手な英語力はボロボロでしたが、留学がとても楽しく、海外で働いてみたいと思うようになりました。
帰国後も積極的に英語を勉強するようになり、英会話が必要なアルバイトを経験したり、大学院進学後は、海外のジャーナルに論文を投稿するなどしてグローバルな環境に身を置きました。就職活動の結果、留学制度のある会社から内定をいただきました。将来は海外の大学院の博士課程で学ぶことも考えています。
(環境化学科卒・大学院化学応用専攻)



留学に参加しやすく、得られることも多い！

参加前後で印象が違いました。最初はハードルが高そう、一緒に参加する友達がいなくて参加するのは勇気がいることだと思っていました。でも実際は、ハードルは高くなく、得られたことも多かったです。視野が広がったことで、留学後もいろいろ挑戦するようになり、プロジェクト活動に打ち込むきっかけになりました。やりたいことがまだ明確になっていない学生にもぜひ参加してもらいたいです。
(機械理工学科)



ご質問・ご不明な点は下記までメールにてご連絡ください。

工学院大学 KOGAKUIN UNIVERSITY
グローバル事業部 Global Projects Department
〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2
1-24-2 Nishishinjuku Shinjuku Tokyo
TEL:03-3340-0939 FAX:03-3340-0141
E-Mail: globalesc.kogakuin.ac.jp
URL: www.kogakuin.ac.jp

Globalization, It is not a Desire, It is a Requirement.

まず海を渡る！
全てをそこから始める！
英語力不問・現地授業料不要の留学



英語力に不安があっても大丈夫！



先進工学部 ハイブリッド留学

留学国
アメリカ

日本にないことが学べます！

本学授業科目は日本語、生活はホームステイで英語、というハイブリッド環境による2年2ndクォーターに実施する10週間の米国留学



「ハイブリッド留学プログラム」とは…

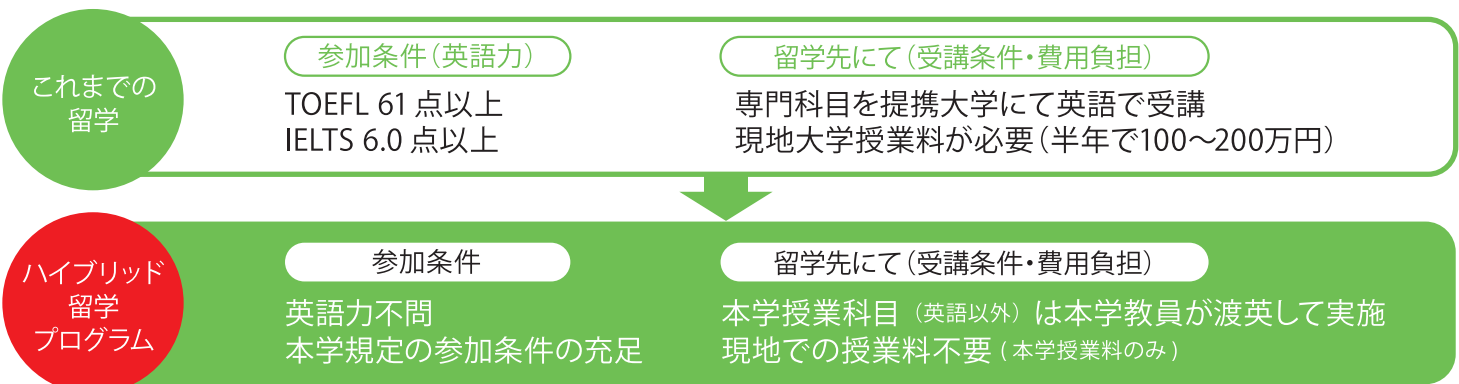
「まず語学の修得から」というこれまでの留学スタイルから脱却し、留学のハードルを下げ、「まず海を渡る」ことを最優先させ、海外の「現場」で、「数多く」の、「様々な」経験を積んでいくことにより、Engineer, Scientistとして必要な海外での経験値を上げながら、英語やグローバルな思考が自然に身につくよう開発したプログラムです。

今までの留学プログラムとの違いは？

従来の大学における留学プログラムは、留学中の授業の遅れや単位不足による留年を防ぐため、その必要最低限の科目を現地協定大学等に所属し、協定大学等の開講する専門科目を現地言語にて履修し、帰国後その単位を認定するという方法が一般的でした。そのため留学に際しては、まず協定大学への入学必須条件として語学力判定テスト（TOEFL やIELTS など）での一定以上の基準点獲得が必要となり、さらに協定大学での授業料も徴収されるため、参加するハードルが高く、留学が身近なものとして捉えることはできていなかった。

ハイブリッド留学は、海外経験によってグローバルな素養を学生に身につけさせることを目的に、参加する学生の語学力を問わず、かつ経済的負担を軽減し、『まず海を渡らせる!』ことを最優先にした留学プログラムです。最大の特徴は、英語以外の本学授業は本学教員を現地へ派遣して日本語で実施、日常生活は全て英語で過ごすというハイブリット環境による留学という点です。留学へのハードルを下げ、エンジニア、サイエンティストとして必要な海外での経験値を上げながら、英語やグローバルな素養が自然と身につくようにしています。**まず海を渡らせ、海外の「現場」で、「数多く」の、「様々」な経験を積ませていくことにより、いかなる場面でも対応できる柔軟な発想と行動力を身につけさせ、どのような状況であろうと自分で判断し、解決策を見出し、そして解決していく力を育成していきます。**

本取組みは平成 2 7 年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム」に採択されるなど、国はもちろん各方面からも注目されています。



プログラム対象学部、学年、留学時期・期間	
対象学部	先進工学部
対象学年	2年生
留学時期・期間	6月～8月の間の10週間

本学授業科目は日本語で実施	
アメリカにて開講する本学授業科目の実施形態は次のとおりです。 ・オンライン授業 ・授業担当教員が日本から渡米して実施する対面授業	

現地開講授業科目	
募集説明会で配布される各学科の資料を確認してください。	

現地での1週間のスケジュール例				
本学授業科目実施時				
	1 限	2 限	昼休み	3 限
DAY1	授 業	授 業	昼 食	授 業
DAY2	授 業	授 業	昼 食	授 業
DAY3	授 業	授 業	昼 食	授 業
DAY4	授 業	授 業	昼 食	授 業
DAY5	授 業	授 業	昼 食	授 業

注)学科、授業科目により、時間割は異なります。
4限の授業がある場合もあります。

協定校英語授業のみ実施週				
	1 限	2 限	昼休み	3 限 ～
DAY1	英 語	英 語	昼 食	各自でフィールドワーク
DAY2	英 語	英 語	昼 食	各自でフィールドワーク
DAY3	各自でフィールドワーク			各自でフィールドワーク
DAY4	英 語	英 語	昼 食	各自でフィールドワーク
DAY5	英 語	英 語	昼 食	各自でフィールドワーク

- プログラム参加に際しての注意点（※重要）
1. 申込・参加条件

(1)参加にあたっては、各学部で選考を行い参加不適切と判断された場合は、参加不可となります。
また、場合によっては面談を実施し、参加の可否を決定します。
①各学科別要件
◎全学科共通……………1年次に3 5 単位以上取得していること
○応用化学科・応用物理学科・機械理工学科…
1年次の必修科目すべての単位を取得していること(ただし、第4クォーターの「重積分」は除きます)
○生命化学科・環境化学科…1年次前期の必修科目すべての単位を取得していること
○生命化学科・応用化学科…1年次後期の生命化学基礎実験もしくは応用化学基礎実験の単位を取得していることが望ましい。
履修していない学生は、事前に学部担当教員に相談してください
○大学院接続型コース(SS)…別途対応します。参加意志がある場合は、グローバル事業部に申し出てください
②心身共に健康で成績優良の者
・プログラム期間を通し、学習や現地の生活に耐えうる心身の健康状態にあり、またプログラム終了までその健康状態を自己管理のもとで維持することができること。
・持病・既往症及び通院履歴等がある場合、健康上プログラムの参加に支障がないと医師の診断を受けていること。ただし、医師の診断があっても、工学院大学もしくは派遣先機関やホームスティ受入先の判断によっては、参加が認められない場合があります。
・その他、募集説明会で提示される事項について必要な申告・対応を行うこと。
申告内容に虚偽が見つかりプログラム申込後に参加不可と判断された際に発生する諸取り消し費用は、本人負担となります。
(2)募集説明会に出席し、提示された申込・参加要件を理解し、厳守を誓約できる者
2. やむを得ない理由によりプログラム途中で帰国する場合でも、修得単位不足のため進級が困難となる場合があります。

英語教育は提携校と連携して実施

本学『国際キャリア科』と、本学協定校が連携し、滞在期間を有効に活用した英語教育を実施します。
※協定校は米国大学入学を希望する外国人留学生に対して英語を教える『集中英語コース』を設置しており、非ネイティブスピーカーの学生への指導に定評があります。
⇒つまり「**英語が苦手な留学生に対する英語教育**」の専門家による英語授業を実施。

渡米資格（ESTA）

本プログラムでは、**米国留学ビザ『F-1』は取得しません。**

ESTA（電子渡航認証システム）を取得して渡米します。
※本プログラムは本学協定校との学生交流プログラムの活動(90日以内の短期滞在の資格／長期海外研修というイメージ)として渡米します。



ESTAとは？

ESTAとは、米国国土安全保障省が施行しているビザ免除プログラム(VWP)の一部で、適格と認定された特定国市民が90日間以内の期間、観光または商用目的で米国にビザなしで渡航する事ができるよう、事前にオンラインで申請、承認するシステムの事です。

ESTAによる渡米での滞在中の制限

ESTA申請時の必要書類

●アルバイトも含め、働くことはできません
●米国の大学等に入学することはできません

①パスポート
②滞在先情報（ホストファミリーの住所）

現地協定校について 注)実施する年度により受入校が異なる場合があります。

①North Seattle College （州立）
【所在地】19600 College Way North Seattle, WA, USA
【設 立】1970年
【学生数】14,000名
【U R L】https://northseattle.edu



②Green River College （州立）
【所在地】12401 SE 320th St, Auburn, WA, USA
【設 立】1965年
【学生数】9,000名
【U R L】http://www.greenriver.edu



留学地（滞在）①Seattle, Washington



ダウNTOWN スターバックス1号店 フィッシュマーケット スペースニードル ワシントン大学

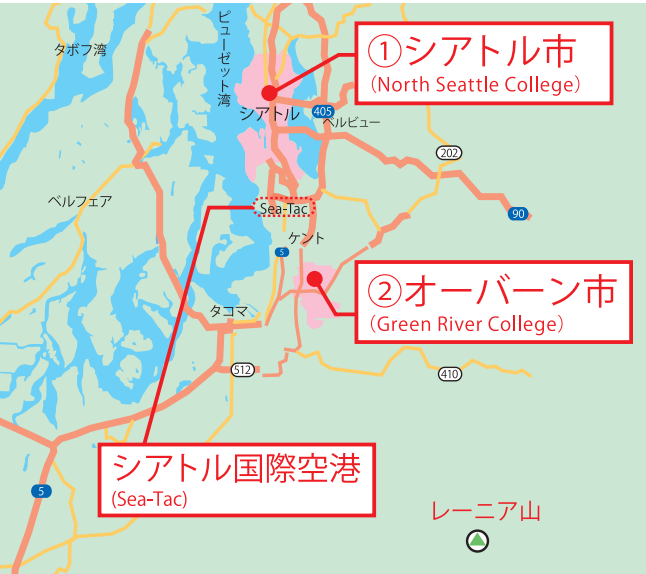
アメリカ、ワシントン州シアトル市は人口約64万人のワシントン州最大の都市です。カナダとの国境から約113マイル（182キロ）のところに位置しますが、暖流の影響を受け、気候の穏やかな都市です。New YorkやLos Angelesに比べると規模は小さく、観光目的には少し物足りないかもしれませんが、常に「全米の住みやすい都市ランキング」の上位にあげられるほど人気の高い都市です。また、任天堂U.S.、ボーイング、マイクロソフト、アマゾン、スターバックスコーヒーなどが本社を置いていることでも有名です。

留学地（滞在地）②Auburn, Washington



週末青空マーケット レーニア山 オーバーン駅 ショッピングセンター

アメリカ、ワシントン州オーバーン市はシアトルより車で東へ4 0 分ほどの距離にある『森と川』の街です。人口は7 万人と小規模な都市ですが、シアトル・ダウンタウンへのアクセスもよく、静かで住みやすい街です。また標高4, 3 9 2 mを誇るレーニア山は、車で約1 時間の場所に位置します。



①シアトル市 (North Seattle College)
②オーバーン市 (Green River College)
シアトル国際空港 (Sea-Tac)
レーニア山



ボーイング社工場見学



Photo Gallery



Kogakuin Class
工学院大学授業



English Class 英語授業

留学中の生活（ホームスティによる滞在です）

現地滞在中にできる限り多くの時間を生の英語に触れてもらうこと、現地在住者と生活を共に過ごすことによりアメリカの文化や風習を吸収してもらうこと、参加者の日々の安全確認等を考慮し、滞在期間全てを通してホームスティによる滞在となります。ホストファミリーは原則として日本人のいない家庭となります。ホストファミリーは協定校が選定した留学生の受入を積極的に行っている信頼できるファミリーです。
※その年の現地状況等により、日本人学生2名で1家庭に滞在する時期が発生しうることを、予めご了承ください。



Copyright © Kogakuin University Global Projects Department. All Rights Reserved.

Copyright © Kogakuin University Global Projects Department. All Rights Reserved.

Copyright © Kogakuin University Global Projects Department. All Rights Reserved.